

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 鳴門市の現状	3
1 鳴門市の概要	3
2 観光地の現状	3
(1) 徳島県全体の動向	3
(2) 徳島県内における鳴門市の地位	5
(3) 観光ルートの実態	5
第2章 課題及び目標の設定	6
1 課題の分析	6
(1) 主要観光地入込客数	6
(2) 大鳴門橋通行台数	6
(3) 地域経済への貢献	7
(4) 市民のニーズ	7
(5) 行政の目指す方向	8
2 目標の設定	8
第3章 政策提言にあたって	9
1 政策の基本理念	9
2 政策提言により想定される経済効果	10
3 政策提言により想定される経済効果の規模	10
第4章 政策提言	11
提言1 地域連携による本物の「食」の提供	11
提言2 食育をテーマとした企業ミュージアムの誘致	12
おわりに	14

提言の要旨

高速交通時代における観光を地域経済の活性化の起爆剤としてどう活かすか
鳴門市の場合

現状分析

- 高速道路の開通により観光入込客数が一時的に増加
- 「渦潮」に観光客が集中
- 関西地方の観光客が多い
- 観光客の交通手段として、自家用車
- 豊富な地域資源が存在

課題及び目標の設定

【課題】

高速道路の開通により、利便性の向上や都市部との移動時間が短縮し、観光客も一時的には増加したにも関わらず、特定の観光施設等への集中傾向は変化しておらず、観光が必ずしも地域経済の活性化に貢献していない。

【目標】

知名度の高い渦潮を核としながら、豊富な地域資源を活用して、観光客の滞在時間（渦潮+ α ）の延長を目指す。

* 3時間以上の滞在で、8割の観光客が3,000円を消費

* ターゲットは、自家用車で訪れる家族やグループ

施策提言

《提言1》 地域連携による本物の「食」の提供

鳴門ならではのブランド食材を活用した新たなメニューを開発

《提言2》 食育をテーマにした企業ミュージアムの誘致

鳴門が発祥の地である大塚製菓の企業ミュージアムを誘致

効果

鳴門市の経済の活性化